

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600198
事業所名	グループホーム ジョイフル江南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	年2回、町内会長、医療関係者、老人クラブ、江南市職員などが参加する運営連絡協議会を開き、運営に関する報告や各種の問題について話し合いをしている。また散歩のときに会った人と挨拶を交わしたり、ホーム周辺の清掃活動のとき地域の方と話をしたりしている。コロナ以前には近隣小学校やボランティアとの交流、認知症カフェ、サロン、お祭り、運動会、地域感謝祭等複数の活動を行い、地域との関係を築いている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	コロナのため書面開催になっているが、運営推進会議には町内会長、市役所、地域包括、家族などが出席し、事故対策、行事、運営状況、利用者がふと漏らした「つぶやき」等について報告し対応を説明している。出席者には全員から意見を出してもらうようにし、サービス向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市とは年2回の運営連絡協議会において、施設の状況を説明し、地域が希望するグループホームの在り方などについて協議している。また、生活福祉課とは生活保護の各種手続き、利用者の状況説明、相談などの連携を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年2回家族に満足度調査を実施し、家族の提案や要望を検討のうえ利用者支援に反映している。また、満足度調査の結果は運営推進会議に報告して対応を説明している。家族に対しては毎月「グループホーム便り」を送り利用者の状況を報告し、意見を出し易いようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄

運営推進会議は令和3年12月、令和4年2月、4月、6月、8月、10月に書面開催されている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								